

六甲サッカー部 輝かしい戦績のまとめ（昭和 24 年～平成 7 年）

六甲学院サッカー部は、平成 30 年 4 月 1 日に創部 70 周年を迎えました。
70 周年の節目の年に、昭和 24 年～平成 7 年迄のサッカー部戦績を纏めました。

県高校大会別優勝回数は 2 回。昭和 46 年県高校総合体育大会での初優勝、全国
高等学校総合体育大会（徳島）へ出場。

もう一回は、10 年後の昭和 56 年 2 月県高等学校新人サッカー大会での伊丹北
との両校優勝であります。

県高校総合体育大会では昭和 34 年に初めてベスト 4 入りを果たし、昭和 46 年
には初優勝、昭和 48 年には 2 位、平成 3 年にはベスト 4 入りの実績を残す。
県高校新人大会は神戸市高校新人大会で昭和 35 年、38 年と優勝するが、県大
会突破の壁は非常に厚かった。昭和 42 年準優勝、46 年 3 位、47 年 2 位、48 年
2 位と好成績を残す。昭和 56 年に念願の県高校新人大会で優勝を果たす。
近畿高校新人大会では昭和 48 年に嵯峨野高校(京都)を破り悲願の初優勝を達成。
国民体育大会県予選大会では昭和 33 年、39 年にベスト 4 入りするに留まる。

昭和 24 年度にスタートした県中学校大会（昭和 25 年 2 月）の記念すべき第 1
回大会に六甲中は神戸予選を 2 位で勝ち上がり、県大会ではベスト 4 に入る。
昭和 40 年の第 17 回では県大会準優勝、近畿中学総合体育大会で準決勝敗退の
3 位を確保した。

県中学校サッカー選手権では昭和 44 年の第 3 回大会、46 年の第 5 回大会で共
にベスト 4 入りしている。

（参考資料）

1) 「六甲サッカー部 50 年史」

平成 6 年（1994 年）2 月 25 日発刊 六蹴会

2) 「佃幹夫先生追悼文集」

平成 26 年（2014 年）1 月 2 日発刊 六蹴会

3) 「兵庫サッカーの歩み ―兵庫県サッカー協会 70 年史―」

平成 9 年(1997 年)12 月 24 日 兵庫サッカー協会

10期 ～ 12期

1950年（昭和25年）1月～2月

県中学校大会 神戸市予選 準優勝

六甲1-0上野中 六甲2-1苺藻中 （決勝）大橋中2-1六甲

県中学大会 ベスト4入り 第3位 六甲中、大橋中

（準決勝）浜脇中1-0大橋中 魚崎中2-1六甲

（決勝）浜脇中2-1魚崎中

（当時のメンバー）

10期 鈴木昭・立花昭美・北條完治・松浦基之・門田尚武

1952年（昭和27年）8月～9月

国体高校サッカー県予選 ベスト8入り

1回戦 六甲1-0須磨 2回戦 六甲3-1西脇

3回戦 夢ノ台6-2六甲 決勝 神戸4-0夢ノ台

（当時のメンバー 10期、11期、12期）

10期（高校3年）鈴木・門田・立花

11期（高校2年）仲村・西澤・長井・門脇・神田・木下

12期（高校1年）岩間・山田・

16期

1955年（昭和30年）10月 神戸市中学校サッカー大会準優勝

上野中 1-0 六甲 （於：本山中）

1957年（昭和32年）神戸高校に初勝利

常勝を誇っていた神戸高校を遂に破り、六甲サッカー部の歴史に特筆すべき実績を残す

（当時のメンバー 全員16期）

FW 佐々木武・今野勇一・渡邊佐重良・井上祐吉・小林弘典

BK 三島信昭・門脇清和・元川雅隆・土居謙一・土田忠良

GK 柴田雅行

17期

1957年（昭和33年）2月神戸市高校サッカー新人戦 惜しくも優勝逃す

決勝 神戸高校 2-1 六甲

県大会出場するも、二回戦で敗退

1回戦 六甲2-0西脇

2回戦 関学5-1六甲

1958年（昭和33年）8月県高校サッカー大会国体予選 惜しくもベスト4

二回戦 六甲 1-0 甲陽
三回戦 六甲 2-1 灘
四回戦 六甲 4-1 姫路東
準決勝 神戸 1-0 六甲
決勝 神戸 1-0 県芦屋

（当時のメンバー）

17期 赤井平二・浅井義也・井上将・中島一郎・西沢巧・松永恒文
森川哲夫・船越信也

18期 吉川勝・谷垣武史・奥野茂範

18期 ～ 20期

1959年（昭和34年）6月第3回県高校総合体育大会 4強入り

佃先生初の近畿大会（和歌山）出場 昭和34年4月佃先生赴任

二回戦 六甲 6-0 小野
準決勝 神戸 3-0 六甲 芦屋 3-1 葺合
決勝 神戸 4-1 芦屋

1959年（昭和34年）7月 近畿大会初出場、サッカー部創部以来の快挙
善戦及ばず2回戦で敗退

1回戦滋賀代表八幡商業を相手に4-0で快勝したが、2回戦この大会
神戸高校を2-0で下し優勝した大阪代表明星高校に3-0で惜敗

1回戦 山城（京都）4-1 葺合
甲賀（滋賀）2-1 芦屋
神戸 7-0 日吉丘（京都）
六甲 2-0 八幡商業（滋賀）
2回戦 明星（大阪）3-0 六甲
神戸 8-0 星林（和歌山）
準決勝 神戸 2-0 紫野（京都）
決勝 明星 2-0 神戸

（当時のメンバー）

GK山本和磨（2年・18期）RB太田省司（2年・18期）
LB奥野茂範（2年・18期）RH井田国敬（1年・19期）
CH北村正幸（2年・18期）LH姫野富治（1年・19期）
RW山田恭三（1年・19期）RI末正盛隆（1年・19期）
CF吉川勝（2年・18期）LI吉田靖彦（2年・18期）
LW港俊吾（1年・19期）

1961年（昭和36年）2月第13回神戸市高校サッカー新人大会 初優勝

決勝 六甲 3 - 0 御影高校 於：神戸高校

(当時のメンバー)

19期(2年)：井田国敬・姫野富治・山田恭三・米正盛隆・港俊吾
佐野孝次・響尾秀嘉・山本正弘・中村征士郎

20期(1年)：宇川進・石坪一之・細見武夫・大頭秀雄

22期 ～ 23期

1961年（昭和36年）22期（中学3年）23期（中学2年）

神戸市中学大会の全タイトルを奪い、京都・大阪・神戸の三都市大会で優勝、県大会へも駒を進める

第5回県中学校総合体育大会 2回戦敗退 甲陵中 4 - 2 六甲

1963年（昭和38年）第15回神戸市高校新人大会 2年ぶりの優勝

宿敵神戸高校を倒すべくWMフォーメーションを佃先生が考案、
昭和38年1月神戸市新人大会で神戸高校を破る

1964年（昭和39年）2月県高等学校ジュニアサッカー大会 ベスト4

2回戦 六甲 3 - 1 甲南

3回戦 六甲 5 - 0 市尼崎

準決勝 市西宮 1 (抽選勝) 1 六甲

兵庫工 2 - 1 武庫工

決 勝 兵庫工 2 - 0 市西宮

1964年（昭和39年）4月 第19回国民体育大会兵庫県予選

東京オリンピック10月開催に伴い、国民体育大会が6月新潟県で開催。

高校3年生(22期)を中心として大会初出場を目指す但準決勝で福崎高校に惜敗、悲願叶わず

一回戦 六甲 3 - 0 長田

準々決勝 西宮東 (抽選勝) 1 - 1 市西宮

関学 3 - 0 琴丘

福崎 3 - 0 県芦屋

六甲 1 - 0 神戸

準決勝 (4月26日 於：長田高校)

関学 3 - 0 西宮東

福崎 2 - 1 六甲

決 勝 関学 3 - 2 福崎

(当時のメンバー)

22期：宇川裕・辻禮治・三宅讓治・向林保・山村峯彦・竹岡英樹

23期：村田英雄・湯川昌明・太田愛作・陳京生・和田秀博

田川明夫・渡辺恵・倉澤豊哲

26期

1965年(昭和40年)8月 県中学大会準優勝 8月 姫路陸上競技場

1位 魚崎中 2位 六甲中 3位 甲陵中 芦屋山手中

1965年8月 近畿中学校総合体育大会(滋賀県)準決勝敗退 第3位

1回戦 六甲 7-1 大淀

2回戦 六甲 3-0 箕面

準決勝 甲陵(抽選勝) 0-0 六甲

1967年(昭和42年)県高校新人大会準優勝 26期全員1年生のチーム

近畿大会に出場、二回戦滋賀県甲賀高校に惜敗

県高校新人大会 昭和42年2月 於：西宮東高校

2回戦 六甲 2-0 三原

準々決勝 六甲 3-2 西宮東

準決勝 六甲 1-0 報徳

決勝 関学 7-2 六甲

近畿高校新人大会 昭和42年2月 於：甲賀高校

1回戦 六甲 3-1 洛南(京都)

2回戦 甲賀 2-0 六甲

(当時のメンバー 全員26期)

赤堀雄二・居内健二・岩崎俊一・佐々和秀・三幣豊・多次貞二・谷岡真

藤田直巳・柳芳和・福島二郎・長谷幸夫・中村孝文

29期 ~ 30期

1970年(昭和44年)11月 県中学サッカー選手権大会 第3位

2回戦 六甲 2-1 精道

準々決勝 六甲 2-0 鳴尾

準決勝 大久保 4-2 六甲

西神戸朝鮮 6-3 育英

決勝 西神戸朝鮮 1-0 大久保

1970年11月（昭和45年）県高校新人サッカー大会

▼神戸地区予選 優勝

| | | | |
|-----|--------|-----|-----|
| 1回戦 | 六甲 | 3-0 | 葺合 |
| 2回戦 | 六甲 | 9-0 | 東神戸 |
| 3回戦 | 六甲 | 3-1 | 御影 |
| 準決勝 | 六甲（不明） | | 神戸 |
| 決勝 | 六甲 | 6-0 | 星稜 |

▼県高校新人サッカー大会 ベスト4進出

| | | | |
|-----|----|-----|------|
| 2回戦 | 六甲 | 4-0 | 洲本実 |
| 3回戦 | 六甲 | 2-0 | 兵庫工業 |
| 準決勝 | 関学 | 1-0 | 六甲 |
| 決勝 | 関学 | 2-1 | 県芦屋 |

1971年（昭和46年）3月

第23回近畿高等学校サッカー選手権大会 ベスト4進出

| | | | |
|-------|------|-----|-----|
| 1回戦 | 六甲 | 3-1 | 寝屋川 |
| 2回戦 | 六甲 | 3-1 | 朱雀 |
| 準決勝 | 関学 | 2-1 | 六甲 |
| 決勝 | 和歌山北 | 2-1 | 関学 |
| 3位決定戦 | 三原 | 1-0 | 六甲 |

1971年（昭和46年）第15回県高校総合体育大会

県尼崎破り初制覇 高校総体初出場の夢を果たす 29期・30期

| | | | |
|------|----|-----|-----|
| 五回戦 | 六甲 | 6-2 | 葺合 |
| 準々決勝 | 六甲 | 2-0 | 報徳 |
| 準決勝 | 六甲 | 2-0 | 県芦屋 |
| 決勝 | 六甲 | 2-1 | 県尼崎 |

1971年（昭和46年）全国高等学校総合体育大会 8月2日～8日 徳島

| | | | |
|-----|----|-----|------|
| 一回戦 | 六甲 | 4-0 | 米子工業 |
| 二回戦 | 浜名 | 2-1 | 六甲 |

真夏の徳島に遠征、1回戦米子工業を4-0で大勝し2回戦に進出したが前年度優勝校静岡県代表浜名高校に2-1と逆転で敗北。このゲームはNHKのラジオ放送の電波にのり全国放送された。

(先発メンバー)

GK 松崎 (29期) FB 神戸 (30期)・永原 (30期)・柳 (29期)
辰巳 (29期) HB 堀 (30期) 渡邊 (30期) FW 大橋 (29期)
井上 (29期)・堂免 (29期)・大谷 (29期)

(SUB)

上垣 (30期)・藤井 (30期)・森下 (30期)・長谷川 (30期)
辻村 (31期)・守田 (31期)

31期 ~ 32期 ~ 33期

1971年 (昭和46年) 10月県中学校サッカー選手権大会 第3位

2回戦 六甲 1-0 甲陵
3回戦 六甲 2-0 浜の宮
準決勝 大社 1-1 六甲
 布引 1-0 日新
決 勝 布引 4-3 大社

(当時のメンバー)

32期 関浩之・広瀬寿秀・荒川彰・八木康行・谷口徳芳・堂免和正
(中3) 大谷薫平

33期 秋田敏明・菅野裕之・飯尾誠・高木聡・中村祥一・浜口進治
(中2) 松浦隆幸・鷲尾勝・田中靖人・中田高志

1972年2月 (昭和47年) 県高等学校新人大会 準優勝 近畿大会出場

▼ 県新人大会 準優勝

2回戦 六甲 2-1 県芦屋
3回戦 六甲 3-1 県兵庫
準決勝 六甲 1-0 県尼崎
決 勝 神戸 2-0

▼ 第24回近畿高等学校サッカー選手権大会出場 1回戦敗退

1回戦 大阪建国 3-2 六甲

1973年 (昭和48年) 2月 県高等学校新人大会

県大会予選 準優勝

1回戦 六甲 3-0 武庫工業
2回戦 六甲 1-0 社
3回戦 六甲 2-1 神戸
準決勝 六甲 2-0 葺合

決 勝 県芦屋 4 - 1 六甲

1973年3月 第25回近畿高等学校サッカー選手権大会悲願の初優勝

1回戦 六甲 3 - 0 畝傍高校

2回戦 六甲 2 - 0 京都商業

準決勝 六甲 1 (抽選勝) 1 甲賀高校

決 勝 六甲 1 - 0 嵯峨野高校

(メンバー 31期・32期)

31期：雲井・辻村・中村・成田・宮本・小見山・今田・濱田
守田・寺井・岡田・島津

32期：関・大谷・広瀬・堂免・八木・谷口・荒川

1973年(昭和48年)第17回県高校総合体育大会 準優勝 全国出場ならず

準々決勝 六甲 3 - 1 福崎

準決勝 六甲 1 - 0 兵庫工業

神戸 2 - 0 県芦屋

決 勝 神戸 3 - 0 六甲

29期～32期、この頃が六甲サッカー部の黄金時代

国民体育大会県高校選抜に30期渡邊正直 神戸弥が選抜されている

第26回国民体育大会 昭和46年(和歌山) 渡邊正直

第27回国民体育大会 昭和47年(鹿児島) 渡邊正直 神戸弥

兵庫県ユース選抜東南アジア遠征(タイ・香港・マカオ)

昭和47年8月9日～14日

県ユース選抜20人に渡邊正直、神戸弥の両名が選出

40期 ～ 41期

1981年(昭和56年)2月県高等学校新人サッカー大会兼近畿選手権予選

1971年(昭和46年)第15回県高校総合体育大会優勝以来

10年ぶりの県大会優勝

延長戦でも決着がつかず伊丹北高校との両校優勝

1回戦 六甲 7 - 0 豊岡

2回戦 六甲 3 - 1 西脇工業

3回戦 六甲 4 - 0 明石北

準決勝 六甲 3-2 小野
決 勝 六甲 0-0 伊丹北

第 34 回近畿高等学校サッカー選手権 2 回戦敗退 於:和歌山

2 回戦 清風(大阪) 2-0 六甲
決 勝 守山(滋賀) 2-0 御影工業

(当時のメンバー)

40 期 志田正憲・中嶋英二・榊原一郎・広瀬昌幸・大谷純・吉本俊宏
松永邦彦・新田耕一・堀江淳司・堤康・藤岡健介・見田智明
加藤慶一郎
41 期 新美喜民・本多克己・山本雅彦・戸沢一雄・木下貫・竹中功行
河合宏治・熊田秀平

40 期堤康 41 期山本雅彦 国体兵庫県高校選抜に選出
第 37 回国民体育大会 於 ; 島根県 昭和 57 年 10 月 4 日~8 日

41 期 ~ 42 期

1980 年 (昭和 55 年) 神戸市市民大会 優勝

1980 年 第 20 回神戸市中学総合体育大会で高倉中学に勝利し二冠達成

(当時のメンバー)

41 期 山本雅彦・本多克己・戸沢一雄・木下貫・竹中功行・河合宏治・
牧野明久
42 期 大菅純一・藤井顕三・泉田哲也・松本千里・柴野禎久・中田顕史
郎・松下治正・山岡雅典

48 期

1987 年 (昭和 62 年) 第 27 回神戸市中学総合体育大会 第 3 位

準決勝 広陵 5-1 六甲

(当時のメンバー)

48 期 有川典宏・千原均・河野直明・山本順司

49 期

1991 年 (平成 3 年) 県高校総合体育大会 (5 月 3 日~6 月 9 日)

県総体 18 年ぶりのベスト 4 入り、昭和 48 年優勝以来の快挙

1 回戦 六甲 1-0 飾磨工業
2 回戦 六甲 4-0 龍野実業
3 回戦 六甲(スコア不明)報徳学園

4回戦 六甲 1 (PK) 1 武庫工業
準々決 六甲 1-0 神戸弘陵
準決勝 滝川第二 6-1 六甲
決 勝 滝川第二 1-0 加古川東

(当時のメンバー)

49期

長町宏一・新保賢一・天谷篤史・小林毅・泉家康宏・小林紀方
渡辺三郎・都倉良太・大野秀昭・久保篤史・岡本直

50期

小林宏章・和久雅也